第２回生駒市総合計画審議会（全体会）会議録

開催日時　令和２年１０月２日（金）１３時３０分～１５時

開催場所　生駒市役所４階　４０１・４０２会議室

出席者

（ 委　員 ）中川委員、久 委員、高取委員、森 委員、森岡委員、鐵東委員、楠 委員、
淺間委員、藤尾委員、陽山委員、中山委員、村上委員

（ 事 務 局 ）増田市長公室長、岡村企画政策課長、藤川企画政策課課長補佐、片山企画政策課員

欠席者　　なし

議事内容

１　開会

２　案件

（１）市民満足度調査について

（２）総合計画進行管理検証報告書について

（３）その他

３　閉会

以下、発言要旨

（１）市民満足度調査について

【 中 川 会 長 】　案件１番目の市民満足度調査について、事務局から説明をお願いする。

【 事 務 局 】　（資料１について説明）

【 中 川 会 長 】　今の説明の内容に関して、意見等はないか。

〈意見なし〉

（２）総合計画進行管理検証報告書について

【 中 川 会 長 】　案件２番目の総合計画進行管理検証報告書について、事務局から説明をお願いする。

【 事 務 局 】　（資料３について説明）

【中川会長】　今、事務局から説明があったが、部会での検証時に気付かれた点、検証方法の改善点など、それぞれの部会を代表して部会長からご意見あればお願いしたい。第一部会は、代理で森委員にお願いしたい。

【森　委員】　今回、進捗状況の検証を行って、行政の意識と市民の意識との間に様々なギャップがあると感じた。今後、行政が施策を講じる際は、それを認識した上で進めていく必要がある。

【久会長代理】　第二部会が所管した分野については、概ね順調に進んでいるという評価であった。今回検証を行って、検証シートでＰＤＣＡサイクルが上手く回せていないという印象があった。特にＣ（チェック）のところで「･･･を行った。」という記載で終わってしまっているものが散見された。もう一歩踏み込んで、実施したことによってどのような効果があったのかを記載してほしい。また、５年後のまちの実現に向けて、市民の協力がないと進まない分野も多い中、どのように協力を募っていくのかが課題であると感じた。

【高取委員】　第三部会が所管する分野は、子育て、教育、福祉の分野などで、新型コロナウイルス感染症の影響を危惧する意見が多かった。アフターコロナ、ウィズコロナの時代でどのように施策を進めていくべきか、各委員から発言があり、活発な議論が行われた。

【中川会長】　ありがとうございました。その他各委員から、感想も含めてご意見をいただきたい。

【森岡委員】　交通安全の分野について、昨今あおり運転や自転車の交通マナーなど交通安全に関するモラルの低下が社会問題となっており、交通安全教育の必要性が高まっている。しかしそれに対応するための施策があまり進んでいないことを危惧している。

【鐵東委員】　計画を進めていくために、市民の協力が必要不可欠であるが、計画自体が共有できていない。特に、誰が主体的に取り組んでいくのかが明確でないという印象を受けた。今後時間をかけて目標を実現していくために、役割分担を明確にした上で、次世代に引き継いでいく必要があると感じた。

【楠　委員】　全体的にとても勉強になった。初めて委員として参加し、どのようにコメントしていいのか分からなかったが、部会長から説明していただき、納

得した上で自分の意見を述べることができた。生駒市はＳＤＧｓ未来都市に認定されたが、市民のＳＤＧｓに対する認知度がまだまだ低い。表面的なものではなく、現実的なものとして、個人個人の行動がＳＤＧｓの目標実現に繋がっているということをＰＲしていくと効果的であると思う。また、２０年後、３０年後の未来を見据えて夢のあるまちを目指すために今何をすべきかということを行政だけでなく市民や事業者が一緒になって議論できれば良いと思う。

【淺間委員】　生駒市は急速に高齢化が進んでおり、高齢化に伴う問題がたくさん表面化してきている。実際に問題を抱えている現場と行政とのギャップがあり、それを認識して課題解決に繋げていく必要がある。

【藤尾委員】　この１０年、２０年で世の中は様変わりしているが、市民レベルの活動は変わっていないと感じる。まだまだ住民力が弱いところもあり、危機感が薄いのではないかと思う。一方で、ごみの出し方など昔と比べると、一人ひとりの意識も高くなっており、かなり改善されているところもある。しかし、数字で見ると減っていないという評価をされる。そのような意識の部分も評価できる仕組みがあると良いと思う。

【陽山委員】　特に行政経営の分野など、分からないことが多く、知っている範囲でしかコメントできなかった。検証シートに「･･･を実施した。」と書かれていても、市民レベルで見えないことも多い。計画自体もかなり難しく、もう少し分かりやすくなれば良いと感じた。

【中山委員】　この会議に参加したことによって、行政のことに関心を持つようになり、イベント等に実際に足を運ぶきっかけになった。

【村上委員】　生駒市に住んで、ただ行政サービスを受けるだけでなく、市民一人ひとりが、生駒市を支えているという意識をもって取り組んでいかなければいけないと実感した。

【事務局】　ご意見いただきありがとうございます。役割分担を明確にとのご意見に対しては、行政、市民、事業者のそれぞれの役割分担や、それぞれの主体が協力して新たな価値を生み出す協創の取組を分野ごとに明記している。次回検証時は市民満足度調査の結果として市民の取組状況も把握できるので、それを踏まえて検証していただきたい。

夢のあるまちを目指すべきとのご意見に対しては、本計画は策定時に市民ニーズや分野ごとの課題をベースにしているため、かなり現実的な計画となっている。第２期基本計画の策定時には、夢のある未来に向けて、チャレンジしていきたいことを記載するなど検討したい。

分からないことが多く意見が出しづらかったとのご意見に対しては、総合計画は全分野を網羅する行政の計画の中でもかなり特殊な計画である。そのため、総合計画審議会には、学識経験者をはじめ、各分野の団体から委員としてご参加いただいている。その中で、公募市民委員の方々には、専門的なご意見というより、普段市民として生活している中で、感じたことや不便に思うところなどについて、ご意見をいただきたいと考えている。計画自体難しいところもあると思うが、その分野について、生活レベルで経験したことや思ったことなどを遠慮せずご意見いただきたい。

【中川会長】　「分からない」というご意見をいただくことも非常に重要である。

【久会長代理】　市民にとって分かりやすいかどうかはかなり重要なことである。他市では、市民が読んで理解できる検証シートになっているかどうかを基準にしている。ほかにも、分野名をイメージしやすいよう文章にしているところもある。次期計画の策定時に、書き方を工夫することで検証を行うときも理解しやすくなるのではないか。

【中川会長】　それでは、これをもって第２回生駒市総合計画審議会全体会を閉会する。

―― 了 ――